

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	理科	科目	生物探究	学年	第3学年	類型	Ⅱ型文系
単位数	2単位	教科書	チャート式 新生物基礎				
補助教材	リードLight生物基礎（数研出版）						

学習目標	既習の生物現象について、発展的な学習を通して高度な研究方法や知識を身に付ける。また、過去の生物実験の事例研究や問題演習を通して科学的な考え方や態度を養う。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査		
1 学期	4月	序章 顕微鏡の使い方	顕微鏡の使い方やマイクロメーターの使い方について学習し、実際に使いこなせるようにする。	中間考査		
	5月	1. 生物の特徴	生物の多様性と共通性について理解し、生物が代謝によってエネルギーを取り出していることを学習する。			
	6月	2. 遺伝子とのはたらき	遺伝情報はDNAの塩基配列にあることを学び、転写と翻訳の概要からタンパク質の合成について学習する。			
	7月	3. 生物の体内環境	体内環境を一定に保つために、循環系、腎臓と肝臓、自律神経系と内分泌系、免疫で行われる調節について学習する。			
2 学期	8月	4. 植生の多様性と分布	植生や、遷移のしくみについて学び、地球上のバイオームの分布について、気温と降水量に着目しながら学習する。 生態系の成り立ちや、物質循環について学び、人間の活動が生態系のバランスに影響を与えていることを学習する。	中間考査		
	9月					
	10月				5. 生態系とその保全	
	11月				演習	期末考査
	12月					
3 学期	1月	演習		学年末考査		
	2月					
	3月					

学習の方法	日々の授業において基本的な概念や法則を理解していくことが大切です。図を利用しながら生物や生物現象を理解し、基本的な知識については何度も復習しながら身に付けることが必要です。生物に興味を持ち、日常生活や環境との関連を考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	--

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し知識を身に付けるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けるようにする。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現するようにする。	自然の事物・現象に関心や探究心をもち意欲的にそれらを探究しようとするとともに科学的態度を養う。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・実験レポート・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		